

# お西さん

2000  
5-6

## 無意味

御当地にも、やはり「友引」と言われる日の葬儀を忌むという習慣が根づいているようだ。

ある神社の看板に「開運招福」祈願とあった。その内訳は「家運隆盛」「商売繁盛」「夫婦和合」「無病息災」「交通安全」「良縁成就」「金運招来」「大願成就」誠に万々歳の御利益である。

ある寺の前に立った。「定力・呪力・念力・神変加持力」による「悪業断ち」によつての御利益は数十にのぼると言う。ちなみに「悪業断ち」によつての御利益は数十にのぼると言う。ちなみに年回り、相性、厄年、厄日、家相、鬼門、方位、人相、骨相、手相、姓名判断、忌数、墓相、印相と厄介なものに振り回される人の如何に多いことか。

先の「友引」にしても中国の「小六壬」といわれる迷信に過ぎないもの。先勝(速喜)・友引(留連)・先負(小吉)・仏滅(空亡)(物滅)・大安・赤口の六曜説に乾隆三十六年の

「通徳類情」には「毫も深儀なし。無論その儀は取るに足らず。いづくんぞ、よりどころとなすべけんや、人を欺くものなり」と曆書から抹殺されてありながら日本に根を張る現実は人間の弱さを如実にあらわす証でもありましょう。

「迷信」とは「人生の吉凶禍福に関し因果関係のないものを、あると認める判断の錯誤をいう」と辞典にも記された通り何の科学的根拠をもたないものを引きずり私自身の人生を無駄にしては、せん、ない事。

私の人生があらゆる苦悩から解き放たれた力強い歩みができてこそ本当の「宗教」に出会った事になりました。

無意味な「迷信」によつて無意味な人生を送つては、さびしいかぎり――。

輪番 鷺山 諦住

5月21日(日)は降誕会のため、月忌参りはお休みさせていただきます。  
是非、本堂へご参拝下さいませ。

ふれあいの寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

# ようこそ常例布教へ

## 五月の法話

空知北組 西林寺

小林 義晃氏

この度、函館別院五月の常例法座に御縁をいただき事になりました、小林義晃と申します。

私は、昭和三十九年に龍谷大学大学院修士課程(仏教学)修了後、本願寺創立の札幌女子高校(現、札幌龍谷学園高校)に奉職し、宗教・倫理・日本史などを若い生徒に教えてまいりましたが今春三月に定年で退職いたしました。これを機会に、永年心に描いてまいりました本願寺布教使としての活動を開始いたしました。

なにぶん新米の布教使ですので、不慣れのため充分なお取次ぎも出来かねるかと思いますが、一生懸命勤めさせていただきます。

法話は「聞法」を中心とした内容で進めさせていただきます。函館の御同行とともに仏徳讃嘆に同座させていただく事を楽しみにしております。

如来の恩徳の深く広きこと海のごとく、私達の人生を導いてくださっていることを深くよろこばさせていただきますでしょう。

## 六月の法話

根室組 教雲寺

小林 専修氏

有珠山が噴火しています。

多くの寺院と御同行の方々、その地方に住まわれる人々や動物が大変難儀な生活を送っております。心が痛みますがどうすることも出来ず、残念な思いをしております。つくづく歎異抄の教えを味わうほかありません。

「存知の如くたすけがたい」、人間の慈悲心は「始終」がないと言われる通り、唯念佛申すのみです。

桜には紅白の美しい花をつける。思いのままにおもいきり咲く。風に吹かれ地上に落ちて一生を終る。この美しい桜に魅せられて、死ぬ時は美しい桜の樹の下で、と云う西行さん。春の暖かい和らかな陽によって生きとし生ける生命が元気づけられます。

春陽の香りはすこい。

しかし御念佛は我々のズイの中までしみ込み、一緒に元気よく生きようと励まし、如来の光の中で往生できる私達も幸せである。

Q&A  
教えてお寺さん!  
ご門徒さんのご質問に  
お答えします

Q

西別院さんには、立派な建物「文化会館」がありますが、主にどのようなことに利用されているのですか?

A

宗祖聖人御命日の毎月16日には、浄土真宗のみ教えを分かりやすくかつ楽しく学ぶことができる「親鸞大学」講座が開かれ、たくさんの聴聞生が出席しています。そして各教化団体により懇親会や講演会、また絵画・書道の展覧会などを開催しています。お葬儀で使用なさる方には、駐車スペース、各控室の広さや使い勝手の良さで好評をいただいております。その他西別院以外のサークル活動などにご利用いただいております。御門徒さんを始めた皆さんの文化会館ですのでお気軽にご相談下さいね。

# It's 往来

新任・転任挨拶

「こんにちはわ！」



毛利 祥真

この度、函館別院に赴任することとなりました。毛利祥生と申します。旅行でも一度も訪れる事なかった北海道に初めて来させて頂く事となり、桜が咲く前に七年間過ごした京都を出発して、ここ函館の五月の桜を楽しみにして参りました。

私は島根県のお寺の長男坊として生まれ、御縁あって皆様と共に御念仏を慶ばさせて頂く事になりました。まだまだ未熟な私であり、ご無礼な点多々あるかと思いますが、皆様の暖かいお育てを頂いて、一杯ご法義の相続に努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

初めまして。平田淳真と申します。俗名は淳(あつし)です。どうぞ宜しくお願い致します。

故郷は富山県砺波市です。目標は「お念仏に生きる人になることです。六年間も学生をしたツケは大きく、今私の目の前には分からないことしかありません。しかも私の特技は「失敗すること」ですが、失敗と迷惑を生み出しながら多くを学び、いつか必ず皆様のお役に立てる日が来るよう、一杯頑張つていきます。どうか多くのことを教えてください。



平田 淳真



上野 正範

この度、函館別院で法務をさせて頂く事になりました。京都に五年間住んでおりましたが、出身は小樽です。

函館別院職員の中で一番若くフレッシュな二十三歳ですが、北海道の冬をしばらく体験しておりませんので寒さに耐えられるか不安です。若さ故に何かと御迷惑をおかけする事が多々あると思いますが、御門徒の皆様との御縁を大切に、早く顔を覚えられよう日々法務に励みたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

「御苦勞さまでした！」

この度、四月一日付をもって京都のご本山へ転勤することとなりました。僅か一年三ヶ月の御縁でございましたが、浄土真宗の寺院が最も大切にしてある報恩講など、私にとつて大変ありがたいことでした。

別院に勤めておられます御輪番はじめ十数名の職員は言うに及ばず、崇敬区域の僧侶の方々や御門徒の皆様にあつたご指導・鞭撻を頂戴いたしました。僧侶として言うより人として基本となるものばかりでした。

昨年九月十月号の「お西さん」のふれ愛声ランドに「住むところ」と題して掲載した通り、旅人のように去つて行きます。この函館での御縁を、新たな任地で活かしたいと思っております。

ここに、感謝の意をこめて転任の挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございます。

合掌



野川 大卓



山岸 智史

この度、三月三十一日をもちまして自坊に帰ることとなりました。

平成六年の九月、僧侶として何も分からずに函館別院にやつて来たことが思い出されます。最初は不安でいっぱいだった私を御門徒の皆様は暖かく見守ってくださいました。ドジで失敗の多い私でしたが、色々勉強になつた五年半でございました。

富山の実家はのどかな農村地帯で、これからは「こでお念仏の輪を広げていきたいと思つています。もし、近くに來られる事がございましたら、ぜひお立ち寄りください。それでは、皆様お身体を大切に……」

「元気でね！」

昨年この欄で退職の御挨拶を申し上げましたが、二年の嘱託期間を経て、本当にこの三月で退職いたしました。

通算十六年の勤めを辞める時は、さぞ淋しいだろうと思つておりましたが、予想に反して淋しさは全くありませんでした。それは多分これからお参りをしたり、書道教室に通わせていただいたりして、別院の門を度々くぐれる故だろうと思っております。

長い間本当にお世話になりました。厚く御礼申し上げますと共に、今後も何かとお世話になる事と思つたので、よろしくお申し上げます。



府榮野 美代





### ●多忙の毎日

今回は、高丘町の遠藤さんを紹介させていただきたいと思います。遠藤さんは、刺繍やプールに通ったりなどのご趣味を持ち、また札幌のお子様、お孫さんに会いに行かれたり、その他色々ご多忙の毎日を過ごされています。しかも約一年前には車の免許も取られました。

お忙しい中で車の免許を取るのなかなか大変なことだったと思います。しかし、車に乗れるようになって行動の範囲が広がり、楽に移動できるようになったようです。このように本当に活力があり、明るい遠藤さんを見ると、私も頑張らなくてはと思います。元気を分けてもらっているような気がします。また最初のころは車の運転を不安がっていたようですが、今は上手になってどこにでも出かけられるようになったことです。私みたいに油断して事故をしないようにくれぐれもご注意下さい。

(石黒)

### ●ご命日

先日、美原二丁目の安立さんのお宅に約三年半ぶりにお伺いしました。普段、美原の方は担当地区ではないのであまりお参りに伺うことはないのですが、前に御主人がお亡くなりになられた時にお参りさせて頂いた時以来のご縁です。お寺にもちよくちよくお参りに来られるのでお会いすることがあっても、ご自宅に伺うのは久方振りのことでした。

私がお伺いするのが少し早かったせいか、お参りの途中で後ろに何人かの方が座られるのが分かりました。おつとめが終わり、振り返りますと前にお世話になった方々の懐かしいお顔がそこにありました。

御主人のご命日に、親戚の方々がお集まりになり、故人様を偲びつつ如来さまの前に座り手を合わせられる。ご命日という「いのちの火」を通して、私を見つめ、生かされているというよろこびこそが仏恩報尽の念佛となるのではないのでしょうか。本當の意味での「ご命日」をお迎えになられている安立さんに久し振りにお会いできてとてもうれしかったです。

(吉村)

### ●いのちへの呼びかけ

春の足音が、日増しに大きくなってまいりました。桜の花が咲き誇る頃、いよいよ本格的な春の到来ですね。本當に楽しみです。

さて、本町にお住まいの斉藤妙子さんのお宅へお参りに伺ったところ、お仏壇の横の花瓶に桜の枝が生けてありました。「これはどうしたのですか。」とお尋

ねしたところ、「五稜郭公園の桜並木の剪定で切り落とされた枝を、拾ってきて生けているんですよ。」というお答え。まだ芽吹いた状態でしたが、そのうちきれいな花を咲かせるのでしょね、とお話しさせて頂いたとき、改めて、むだな「いのち」というものはないのだなあ、と気付かせていただきました。

阿彌陀如来は私たちに「十方衆生」と呼びかけて下さいます。あらゆるいのちあるものへの、分け隔てのないお心であります。本當の意味で、いのちを慈しみ育むことの大切さを、味あわせていただきました。

(石神)

### ●怪我

人見町にお住まいの松本さんのお父さんは、本當によく動かれる方でいつも寄せていただくたび驚いています。

昨年の暮れ近く、雪の多い日、長年使い慣れた除雪機でいつものように家の周りやお隣の家の方まで雪かきをされていた時、チョットした気のゆるみでその除雪機に手を挟まれ、大けがをされ、お参りに伺いをしたとき両手に包帯をされ、見るからに痛々しそうです。

その後、何度かお伺いすると少しずつ包帯もとれて、よくなるれてきました。が、まだまだいろいろな面で苦労していますと話してくださいました。いつもは、なにげなしに使っていた手が、怪我をしたために、物

を一つ洗うだけでもタオルをしぼるだけでも、これほど大変なことと改めて感じましたと、手を見ながらおっしゃいました。

在ってあたりまえ、いてあたりまえ、そう思い込んでいるのが私たちです。本当にそうなんでしょうか、もう一度私自身を、周りを見つめ直す御縁を頂きました。お父さん、あまり無理をせずお身体を大事にして下さいよ。

(神田)

●函館「穴場」絶景スポット●

末広町にお住まいの野田さんのおばあちゃんの部屋は二階にあります。おばあちゃんは数え年で九十歳になるのですが、いまだに二階と二階を毎日、元気に行ったり来たりしています。おばあちゃん曰く「これが毎日の健康法」と言うことですが、七十歳になった私のおばあちゃんは昇り降りが大変だと言っているのを思い出すと何とも頼もしく見えます。

先日、おばあちゃんの部屋を見せていただきました。野田さんの家は「日本の道百選」にも選ばれた大三坂にあり、海に面したお部屋は晴れた日は駒ヶ岳まで見える絶景が楽しめます。とてもきれいな見えるので、「長生きのできる函館絶景スポットルーム」としてガイドブックに載らなければ良いのかなあと、私の感想です。

(高倉)

●生涯青春●

皆さんのお宅にお参りに伺い、お勤めの後にいろいろな話題に花が咲くことがあります。そして特におじいちゃんやおばあちゃんの方々からは、若い時分の函館の様子やお仕事のこと、また今の世代と比較した物事の考え方など、世代のギャップの感じ方もすごく興味を持って聞くことができ、いろいろと気付けられることがあります。

新川町にお住まいの吉田澄子さんは、お勤めの後にはいろいろなお話を聞かせてくれます。それは、本来こうあるべき子育てのことから昨今起きている事件に関わることでまで幅広く語ってくださることに「なるほどな」と感じます。また吉田さんは、絵画に興味を持っておられ、部屋には何十点ものすばらしく心を打つ作品が掛かっており、また事あることに書店に出掛け、さまざまなジャンルの本をお読みになり充実した毎日を送られています。「お寺さんは、ただお勤めをするだけでなく、いろんな話題や知識を持ってなければ、本当の門徒さんとのふれあいは生まれてきませんよ。」とお叱りをうけながら、学びを深くする昨今です。

私たちはともすれば「昔はよかったなあ」と嘆き、昔を懐かしがります。どうも私たちは老いに向かつて右下がり落ちていく言葉が多いのですが、吉田さんのようにバイタリティー溢れる声を聞いていると、青春という文字は若者だけの特権ではないのだと感じました。

(野田)

◎16日会◎  
平成11年度決算

収 入	金 額	支 出	金 額
前年度繰越金	415,260	贈 費	163,225
会 費	219,300	通 信 費	12,000
別院より助成金	50,000	交 通 費	18,300
預 金 利 息	724	新年会経費	73,447
		欠席者払戻金	47,400
小 計	685,284	小 計	314,372
		次年度繰越金	370,912
合 計	685,284	合 計	685,284

乙女のつぶやき《事務員日記》

最近めっきり春らしくなり、朝晩は冷え込むものの日中は暖かい日が続いていますね。ニュースでも「桜最前線の北上」など春の便りが聞こえるようになりました。

先日、高校時代の友人から手紙が届きました。友人が地方へ行って間もない時には、よく手紙のやり取りをしておりましたが、最近通信手段の発達で、お互い電話でのやり取りばかりでした。けれどもたまには手紙もいものですね。封筒の中には便せん一枚で、電話で話をするとの五分とかからないものですが、やっぱり文章となるとたたくくたらない話でも、味のあるものになります。私もたまには手紙でも書こうかな?と思う今日この頃でした。

(小池)

親鸞聖人のお誕生を  
お祝いするお慶びの法要

平成12年  
宗祖聖人

降ごう 誕たん 会え



5月  
20日  
土曜日

5月  
21日  
日曜日

- ◆午後1時30分  
法 要〈本堂〉
- ◆午後2時  
法 話〈本堂〉  
(輪 番)

- ◆午前10時  
園児参拝〈本堂〉
- ◆午前11時  
初 参 式〈本堂〉
- ◆午前11時～午後1時  
幼 稚 園 バ ザ ー 〈園内〉
- ◆午後1時  
法 要〈本堂〉

- ◆午後2時  
記念講演〈本堂〉  
講師:随筆家  
佐々木 久子さん

- ◆午後3時30分  
慶びの広場〈会館〉



お問い合わせ

本願寺函館別院 函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

▼平成12年5月21日(日)  
午前11時～約30分程度  
◎当日は30分前までにお参りください。  
受式される方には記念品を  
用意しております。  
※お問い合わせは別院まで

夫婦の間に子供が授かるというのは、じつに尊くうれしい出来事です。その喜びを仏様の前で手を合わせて、しみじみとかみしめ、生まれた子供が仏様の子として、すくすく元気に育つことを願ってお参りするのが初参式です。ご家族揃ってお参り下さい。



はじめてのお寺参り  
初参式に  
いらつしやいませんか

お寺へ行くこう

ようこそ常例布教へ

五月十三日(土) 空知北組

五月十五日(月) 西林寺 小林義晃氏

五月十六日(火) 親鸞大学 [14時より]

五月十三日(火)

根室組

五月十五日(木) 教雲寺 小林専修氏

五月十六日(金) 親鸞大学 [14時より]

土曜の会へ行こう

●五月二十七日(土) (午後一時三十分より)

●六月二十四日(土) 会場 日吉町熊谷宅にて

お問い合わせ ☎(0138)54-6859

浄書(写経)の会

●五月八日月 (午前十時より)

●六月五日月 会場 別院内堂

※お問い合わせは当別院まで

お悔やみ申し上げます

永代経懇志  
ありがとうございました

生きるよろこびを  
親鸞聖人に学ぶ

**函親鸞大学**

◆講師 渡辺 脊龍氏  
◆開講日時 毎月16日  
午後2時より

※但し、7月・10月は休講

◆受講料 **無料**  
(但し、教材費別途)

入学に  
年齢・資格  
性別の制限は  
ありません

どなたでも  
お気軽に御参加下さい。

**納骨堂**

**永代経法要**

■日時■  
6月25日(日) 午後2時より

■会場■  
西別院納骨堂

■法話■  
東別院輪番 平等 明信氏  
(本堂にて)

**●テレフォン法話順番表●**

- 4月30日(日)～5月6日(土)→輪番 ● 6月4日(日)～6月10日(土)→高倉
- 5月7日(日)～5月13日(土)→副輪番 ● 6月11日(日)～6月17日(土)→石黒
- 5月14日(日)～5月20日(土)→野田 ● 6月18日(日)～6月24日(土)→希教使
- 5月21日(日)～5月27日(土)→希教使 ● 6月25日(日)～7月1日(土)→石神
- 5月28日(日)～6月3日(土)→吉村

**お西さんテレフォン法話**

24時間お好きなときにいつでもどうぞ

☎0138 **27局2424番**

編集後記

▼三月末からお寺さんの顔ぶれもがらりとかわりました。退職・異動された方は、函館で経験し培った多くの事を新たな地で発揮していただきたいと思えます。また新しく加わった三名の若手職員、希望に胸ふくらませて毎日仕事をしている新鮮さは、つらつとした姿を毎日見ていると、他の職員ももてできます。まさに「初心忘るべからず」であり「いのちまいにちあたりし」と感じさせてくれるようです。(野田)

▼最近だんだんと暖かくなって、春が近づいてきているのを感じます。私が函館へ来てさせて頂いてからあつという間にもう三週間が過ぎ、少しずつ皆様の所へお勤めによって頂きました。皆様方にはとても優しい笑顔で迎えて、「これからがんばってね」と励まされて、より暖かい春が来たように感じております。これからもよろしくお願いたします。(毛利)

学校法人

# 龍谷幼稚園便り



幼稚園では、四月から勤めているお母さんや急な用事があるお母さんのために、預かり保育をしています。保育終了後、着替えと家から持ってきた自分のおもちゃを持って、子どもたちは、通称“サンサンクラブ”(預かり保育)に集まり楽しいひとときを過ごします。

着替えをすませると、みんなそれぞれのおもちゃや好きな遊びを見つけて、仲良く遊びます。いつも保育室で遊んでいますが、お天気の良い日は、お散歩に出かけたり、園庭に出てみんなで鬼ごっこをしたり、体をたくさん動かして遊ぶこともあります。



みんなで元気に遊んだ後は、おいしいおやつを食べて思わずニコリします。おやつを食べた後は、大きい組さんが小さい組さんを誘って、トランプやゲームをしたり、絵本を読んだりして、お迎えが来るのを待っています。

お迎えが来ると、子どもたちは元気に「先生、さようなら」と、帰っていきます。



## 預かり保育 **さんさん 燦燦 クラブ** ご案内

- ◎お仕事をしているお母さんのために
- ◎用事でしばらくみて欲しい人のために
- ◎幼稚園の保育がすんだあと夕方  
6時30分までお預かりします

- ★対象 龍谷幼稚園児並びに2歳以上の弟妹
- ★担当 幼稚園の先生
- ★内容 保育終了後毎日/幼稚園振替日  
夏・冬休み
- ★保育料 園までお問い合わせ下さい